

多機能型事業所 いっぽ 評価票（スタッフ対象）・考察と改善策

		チェック項目	はい	合計	いいえ	考察と改善策
環境・体制整備	1	子どもの活動のスペース	29	2	0	これ以上は広げようがないので活動内容で工夫するしかないのでは。
	2	職員の配置数や専門性	22	9	0	限られた人数の中での工夫だが、更に改善策があるのであればお聞きしたい。この数字では何か課題があるのではないかと思う。
	3	バリアフリー化の配慮	26	4	1	「玄関は特にバリアフリー化になると便利」という声は無視できないので改善できるのであれば改善したい。
業務改善	4	PDCAサイクル,職員の参画	18	12	1	全体会のあり方の工夫。組織体制の見直しが必要か。
	5	保護者向け評価表	26	4	0	保護者向けの評価については公表しているし、現状で十分だと考える
	6	自己評価の公表	26	4	0	自己評価(職員)は職員には公表しているし、今後はHP等でも公開予定
	7	第三者外部評価	17	11	2	専門的な業者に依頼して第三者外部評価を実施する必要があるが、現状では外部評価に対応できる余裕がない。
	8	研修の機会の確保	27	4	0	eラーニングは全員必須だが、希望により研修は可能なので希望があることを伝えてほしいし、研修には職場としても賛成。
適切な支援の提供	9	支援計画の作成	29	2	0	きめ細やかな支援計画を作成しているし、6か月に一度、保護者と話をして改善している。職員全員で支援計画は理解しておくべき。
	10	アセスメントツール	21	9	1	アセスメントツールとは、個人の特性などをまとめたものです。これを基に個別支援計画を作成しています。個人のまとめには職員全員が関わっているはずですが。
	11	プログラムをチームで立案	25	6	0	リーダーは一人ですが、活動プログラムはみんなで立案するべきですし、夏休みの計画などは子どもたちの意見を多く取り入れています。
	12	活動プログラムの工夫	20	10	1	プログラムには固定して毎日やるべきものと毎日違う内容が必要なものがあります。これこそ、みんなで意見を出し合うべき事ではないでしょうか。
	13	きめ細やかな活動	23	6	2	平日と休日に合わせた活動がなされていると思いますが、改善すべき点があれば、みんなで考えたい。
	14	個別活動と集団活動	27	4	0	集団でできること、しなければならないことと個別に対応すべき事は違うので実態に応じた対応が必要で、活動内容に盛り込まれていると思うが、更に改善点があるのであればみんなで考える必要がある。
	15	事前打ち合わせ	28	3	0	毎日の事前の打ち合わせは有効だと思うが、出席できないメンバーには事業内で伝えてほしい。
	16	事後打合せ	18	12	1	生活介護と放デイはタイムスケジュールが違うので、日々の反省や改善点は話し合うべきだし、改善点があればリーダー等に伝えるべき。打合せという形でなくても何らかの方法で改善点や一日の活動の反省は知るべき。
	17	記録・検証	23	8	0	記録と検証はきちんとしてあるので結果の公表が求められているのかな。個別支援計画を見れば検証していることが分かるんだけどなあ。
	18	定期的モニタリング	27	4	0	半年に一度実施しています。モニタリングとは実態把握です。
関係機関や	19	ガイドラインを組み合わせ	18	12	0	子ども家庭庁が支援の「ガイドライン」を発表して、これに基づいた支援計画を作成しています。
	20	担当者会議	28	3	0	責任のある担当者が毎回参加しています。
	21	学校家庭との連絡	28	3	0	学校や家庭との連絡はかなり密にしています。
	22	主治医との連携	28	3	0	主治医からの指示書もありますし、連絡ツールもあって活用しています。
	23	就学前の情報共有	28	3	0	就学前に限らず、施設を利用するにはたくさんの情報交換の場があります。
	24	卒業後の情報共有	25	6	0	卒業後も同様です。
	25	各種専門機関との連携	19	11	1	それなりに各種機関と連携して支援に取り組んでいます。ただ、専門機関は支援の場ではないので、実践はいっぽの支援がかなり先進的で有効な支援だと思っています。

保護者との連携	26	交流の機会	14	12	5	それなりに交流の場は設定してあるのですが、まだまだ足りないと感じているスタッフが多いようなので、今後も積極的に交流していけるようにしたいと思います。
	27	自立支援協議会	19	9	2	市の担当でこの場を設定するし、各種研修では有効活用と言われるのですが、十分に機能していないのが実態です。今年度もまだ開催されていません。
	28	保護者との共通理解	28	3	0	連絡帳を活用していますし、電話等での連絡も十分されていると思います。
	29	ペアレントトレーニング	17	11	2	ママかふえ等を定期的に開催しています。保護者向けの支援は今後の課題だと思います。(大きな声では言えないが、利用者への支援が最優先だと思っています。)
保護者への説明責任等	30	丁寧な説明	28	3	0	契約までの間に個別に説明しています。
	31	相談・必要な助言	30	1	0	かなり丁寧に相談や助言をしているように感じています。
	32	保護者同士の連携	25	4	1	ママかふえ等を定期的に開催していますが、「いいえ」の職員がいるということは、更なる工夫が必要ということでしょうかね。
	33	苦情への対応	30	1	0	苦情への対応については窓口やマニュアルを用意してあります。
	34	会報の発行	30	1	0	1か月に1回以上のペースでおたよりを発行して、職員室や廊下に掲示しているのですが、広報が足りませんかね。
	35	個人情報に注意	28	3	0	施設として個人情報の保護は必須要件です。どこかで足りない点があれば、全職員で共通理解・共通行動する必要があります。
	36	情報伝達のための配慮	28	3	0	電話や文書、さらには口頭で、など工夫して伝達していると思うのですが、更に改善の必要があれば話し合う必要があります。
非常時の対応	37	地域に開かれた事業運営	28	3	0	いっぽうは地域に開かれた事業運営に力を入れて取り組んでいます。地鎮祭や上棟式などにも地域の方々を招待しています。職員向けの広報が足りなかったですかね。
	38	各種マニュアルの整備	29	2	0	各種マニュアルはほとんど作成しているのですが、感染症のマニュアルなど、個別に再検討する必要がありますね。
	39	避難訓練	30	1	0	法律で定められた年2回の避難訓練は、消防署にも届けています。
	40	虐待防止研修	28	2	1	虐待は絶対にあってはならない行為です。職員研修は義務付けられているのでさらなる研修が必要ですかね。形式的な研修よりも心に響く研修かな。
	41	身体拘束	28	3	0	個別に説明もして、支援計画にも明記してあります。これも虐待と同じで更なる研修が必要ですね。次回の全体会かな。
	42	食物アレルギー	28	3	0	医師の指示が必要なアレルギーはいないのですが、食べ物の好き嫌いまで考慮して対応しているのは素晴らしいと思っています。
職場環境	43	ヒヤリハット事例集	30	1	0	一人一人の経験が危機回避につながるようにしなければなりません。
	44	働きやすい職場	29	2	0	ある程度働きやすいが更なる工夫が必要ということでしょうね。
	45	働き方の融通	29	2	0	ある程度働き方の融通は利くが更なる工夫が必要ということでしょうね。
	46	休暇・休業制度	29	2	0	様々な休暇・休業制度があるけれど、実際に利用できていないということでしょうね。
	47	働きがい	26	5	0	みんなで「働きがいのある職場」を目指しているのですが、更なる工夫が必要と言うことでしょうね。
	48	相談できる雰囲気	26	5	0	みんなで「相談できる雰囲気のある職場」にしていきたいですね。
	49	ハラスメント防止	26	5	0	ハラスメントは絶対にあってはならないことなので、これも全体会で再研修が必要だということでしょうね。
	50	性別に関係なく	31	0	0	この項目だけが回答者全員が「はい」と答えています。ジェンダーフリーの基本的な職場ですね。
			1280	242	21	

仕事、人間関係に問題なく有難く働かせて頂いております。
 申し訳ありません。パート職員として実践していない業務や運営状況について分からない内容もあり回答できない項目が多数ありました。
 先日のことですが、トップが休み、翌日№2が休みの時の朝礼の時に、先日の報告がない状態で朝礼が始まり話がアベトペでもう少しトップ同士のホーレンソウが徹底した方が良いと思いました。トップ同士の連絡帳があるとよいと思いました。
 非常勤のスタッフにも情報が伝わるような工夫がほしいです。「知らなかった」ということがないように。